



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社エヌ・シー・エヌ 上場取引所 東  
 コード番号 7057 URL <https://www.ncn-se.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 田鎖 郁夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 藤 幸平 TEL 03-6872-5601  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,629	26.8	238	65.1	245	59.6	161	47.1
2022年3月期第2四半期	3,651	13.7	144	10.3	154	2.0	110	4.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 150百万円 (39.3%) 2022年3月期第2四半期 108百万円 (0.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	50.31	50.19
2022年3月期第2四半期	34.20	34.11

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,736	2,191	32.4
2022年3月期	6,823	2,189	31.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,184百万円 2022年3月期 2,159百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	37.00	37.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,734	13.6	429	8.4	461	10.0	326	7.0	101.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規1社（社名）N&S開発株式会社、除外 - 社（社名）-

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	3,217,500株	2022年3月期	3,217,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	-株	2022年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	3,217,500株	2022年3月期2Q	3,217,314株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間における住宅業界の状況は、新設住宅着工戸数が2022年7月は前年同期比5.4%減となり3カ月連続で前年同期を下回りましたが、8月以降は対前年同期比で増加に転じ、8月は同4.6%増、9月は同1.0%増となり2カ月連続の増加となりました。

また、世界的な原材料インフレ、ロシア・ウクライナ問題による合板原料・木材等の輸入制限など、原材料の価格動向と調達には予断を許さない状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは独自のサプライチェーンを強みとして、SE構法の出荷見込みに応じた木材を確実に調達し、安定的に供給いたしました。

また、2022年6月通常国会において、建築基準法の改正が決議されました。これにより、2025年より木造住宅の省エネルギー性能の確保が義務となり、また木造における確認申請基準（4号特例）の変更が決定されました。当社は創業以来木造住宅の構造設計を主業務としており、3年後の構造計算ニーズ増大に対応すべく、社内体制の整備をすすめております。

各分野の結果は、以下の通りです。

#### <住宅分野>

当第2四半期連結累計期間のSE構法出荷数は630棟（前年同期比12.0%減）となりましたが、SE構法出荷1棟あたりの平均売上金額が前年同期比1.5倍程度に上昇したことにより、売上高は3,903百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

また、SE構法登録施工店は新規に20社加入し、592社となりました。

#### <非住宅分野>

当第2四半期連結累計期間のSE構法出荷数は42棟（前年同期比40.0%増）となり、売上高は568百万円（前年同期比26.7%増）となりました。

SE構法以外の大規模木造建築を扱う株式会社木構造デザインでは、計画通りにプロモーション活動を実施し、順調に営業活動を推進しております。

また、今後さらに高まることが予想される大規模木造建築のニーズをとらえ事業拡大していくことを目的として、10月1日付で株式会社翠豊の株式51.2%を取得し子会社化いたしました。株式会社翠豊は、岐阜県に本社を置く大断面集成材加工や特殊加工、大規模木造建築の施工力に強みを持つ会社であり、今回の子会社化により、当社が従来より取り組む大規模木造建築の構造計算事業に加えて、大断面集成材の特殊加工や施工を事業化し、事業領域を拡大していく計画です。

#### <環境設計分野>

2021年4月より説明義務化となった住宅の省エネ性能に対して、補助金の受給に関するコンサルティング業務と合わせてサービス提供することにより、木造住宅、集合住宅及び非住宅木造物件向けの一次エネルギー計算書の出荷数は1,315件（前年同期比21.0%増）となり、売上高101百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

#### <DX・その他の分野>

木造建築向けITソリューションを開発・展開する株式会社MAKE HOUSEでは、2021年10月に開設した「MAKE HOUSE BIM BASE」を拠点に事業拡大に向けた人材育成を行い、BIM技術を活用した高画質建築空間シミュレーションサービス「MAKE ViZ」の営業活動をすすめたこと等により、売上高は55百万円（前年同期比44.8%減）となりました。

#### <子会社及び関連会社>

サブスク型セカンドハウス事業を行う株式会社Sanuとの合弁会社N&S開発株式会社を設立し、セカンドハウスの商品開発を行うとともに、当社の登録施工店ネットワークを利用したセカンドハウス建設を計画し、新規需要増加へ向けた取り組みをスタートさせました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高及び売上総利益以下の段階利益は過去最高益となりました。

売上高は、前年同期比26.8%増の4,629,237千円、売上総利益は、前年同期比20.8%増の1,107,107千円、営業利益につきましては、成長分野（大規模木造建築（非住宅）分野、BIM事業）への投資を積極的に行ったことにより販管費が増加（前年同期比12.5%増）したものの、前年同期比65.1%増の238,776千円となり業績予想を25.4%上回りました。

経常利益は前年同期比59.6%増の245,895千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は161,884千円（前年同期比47.1%増）となり、売上高営業利益率は5.2%、ROE（自己資本当四半期純利益率）は7.5%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は6,736,613千円となり、前連結会計年度末に比べ86,958千円減少いたしました。これは主に電子記録債権が41,981千円、本店移転に伴う差入保証金が50,416千円増加したものの、現金及び預金が181,271千円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は4,545,276千円となり、前連結会計年度末に比べ89,188千円減少いたしました。これは主に未払金が45,056千円、未払法人税等が21,008千円、賞与引当金が23,265千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,191,337千円となり、前連結会計年度末に比べ2,230千円増加いたしました。これは非支配株主持分が22,417千円、その他有価証券評価差額金が9,651千円、資本剰余金が8,536千円減少したものの、利益剰余金が、配当金の支払119,096千円を差し引き42,836千円増加したこと等によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率32.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当四半期純利益が245,895千円であったものの、固定資産の取得による支出のほか、関係会社株式の取得等により、前連結会計年度末に比べ181,271千円減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,356,236千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は156,621千円となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前当四半期純利益が245,895千円、減価償却費が63,911千円、減少要因として売上債権の増加38,694千円、仕入債務の減少22,677千円及び法人税等の支払額102,558千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は179,596千円となりました。これは主に、CADの機能追加、㈱MAKE HOUSEの社屋改修工事費等、固定資産の取得による支出64,504千円、本店移転に伴う差入保証金の支出50,416千円及び関係会社株式の取得49,990千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は158,296千円となりました。これは、配当金の支払額119,096千円、短期借入金の返済9,800千円及び㈱MAKE HOUSEの株式を取得したことによる支出29,400千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,638,151	3,456,881
売掛金	1,406,396	1,410,541
電子記録債権	8,751	50,733
有償支給未収入金	672,752	665,320
商品	20,280	21,348
仕掛品	2,892	3,627
貯蔵品	272	272
その他	50,631	36,324
貸倒引当金	△1,639	△1,657
流動資産合計	5,798,489	5,643,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,986	54,363
減価償却累計額	△25,064	△27,201
建物及び構築物(純額)	15,921	27,161
車両運搬具	2,030	2,030
減価償却累計額	△211	△666
車両運搬具(純額)	1,818	1,363
工具、器具及び備品	170,339	173,293
減価償却累計額	△76,616	△97,267
工具、器具及び備品(純額)	93,723	76,025
建設仮勘定	7,286	-
有形固定資産合計	118,749	104,550
無形固定資産		
その他	366,020	338,714
無形固定資産合計	366,020	338,714
投資その他の資産		
投資有価証券	368,664	413,812
繰延税金資産	73,364	73,843
その他	99,371	163,330
貸倒引当金	△1,090	△1,030
投資その他の資産合計	540,311	649,956
固定資産合計	1,025,081	1,093,221
資産合計	6,823,570	6,736,613

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,415,370	2,287,725
電子記録債務	859,694	964,661
短期借入金	9,800	-
未払法人税等	117,739	96,730
賞与引当金	79,829	56,563
有償支給差額	46,630	62,824
その他	342,462	268,368
流動負債合計	3,871,527	3,736,874
固定負債		
預り保証金	684,596	724,016
役員退職慰労引当金	25,666	28,166
退職給付に係る負債	52,673	56,218
固定負債合計	762,937	808,401
負債合計	4,634,464	4,545,276
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	390,858	390,858
資本剰余金	263,936	255,399
利益剰余金	1,523,973	1,566,810
株主資本合計	2,178,768	2,213,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,919	△28,570
その他の包括利益累計額合計	△18,919	△28,570
非支配株主持分	29,257	6,839
純資産合計	2,189,106	2,191,337
負債純資産合計	6,823,570	6,736,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,651,478	4,629,237
売上原価	2,734,937	3,522,129
売上総利益	916,540	1,107,107
販売費及び一般管理費	771,873	868,330
営業利益	144,666	238,776
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	696	—
持分法による投資利益	8,753	4,809
貸倒引当金戻入額	60	150
雑収入	325	2,819
営業外収益合計	9,850	7,798
営業外費用		
支払利息	—	36
雑損失	485	643
営業外費用合計	485	679
経常利益	154,031	245,895
税金等調整前四半期純利益	154,031	245,895
法人税等	51,456	85,565
四半期純利益	102,574	160,329
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,462	△1,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,036	161,884

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	102,574	160,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,568	△9,651
その他の包括利益合計	5,568	△9,651
四半期包括利益	108,142	150,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,604	152,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,462	△1,554

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	154,031	245,895
減価償却費	42,341	63,911
引当金の増減額 (△は減少)	6,609	△20,807
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,688	3,544
受取利息及び受取配当金	△711	△18
支払利息	-	36
持分法による投資損益 (△は益)	△8,753	△4,809
売上債権の増減額 (△は増加)	△593,410	△38,694
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,237	△1,803
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,609	13,542
仕入債務の増減額 (△は減少)	664,640	△22,677
未払金の増減額 (△は減少)	△7,822	△5,545
未払費用の増減額 (△は減少)	6,617	△215
前受金の増減額 (△は減少)	11,225	△29,874
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,028	144
預り保証金の増減額 (△は減少)	26,000	35,000
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△7,188	17,151
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	5,390	4,420
小計	291,782	259,198
利息及び配当金の受取額	925	18
支払利息及び社債利息	-	△36
法人税等の支払額	△60,878	△102,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,829	156,621
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,100	△10,636
無形固定資産の取得による支出	△121,338	△53,868
関係会社株式の取得による支出	-	△49,990
差入保証金の差入による支出	-	△50,416
保険積立金の積立による支出	△1,195	△1,195
その他	60	△13,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,574	△179,596
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	-	△9,800
ストックオプションの行使による収入	117	-
配当金の支払額	△90,195	△119,096
非支配株主への払戻による支出	-	△29,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△90,077	△158,296
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,177	△181,271
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,808	3,537,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,909,985	3,356,236

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

<セグメント情報>

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、報告セグメントが「木造耐震設計事業」のみであり、その他の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、報告セグメントが「木造耐震設計事業」のみであり、その他の事業の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。